

熊救協

【ご挨拶】

熊本県救護施設協議会副会長 土井口 秀幸

寒さもいっそう身にしむ今日この頃ですが、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

去る7月熊本市で開催されました第29回九州地区救護施設職員研究大会は、九州各県から110名の参加があり、盛会理に終わることができました。これも熊本県・熊本市・熊本県共同募金会、そして熊本県社協のご支援ご協力のおかげであり、また林田県会長のもと熊救協で組織された実行委員会をはじめとして、連携して取り組んだ結果だと思われます。

生活保護制度については、国の社会保障審議会福祉部会で生活保護制度のあり方に関する専門委員会検討されたものが年内に報告される予定であり、また三位一体改革の中、生活保護費の国と地方の負担割合について次年度はとりあえず見送られるようですが引き続き議論されるでしょうし、まさに激動の時であります。

救護施設においては個別支援について積極的に取り組み、利用者個々のサービス向上に努めていく必要性を痛感しております。福祉事務所他関係機関との連携で利用者の自己実現に向け精進していくつもりですのでこれからもよろしくお願い致します。

【各施設のピックアップ】

【菊池園】～平成6年から選択メニューを取り入れています～

「何より楽しい食事を自分で選ぶ」ことの実現のため選択メニューを導入しています。

週3回 ・木曜日の朝食（和食と洋食メニュー）
・火曜日の昼食（変わりご飯と麺食メニュー）
・日曜日の昼食（ご飯とパン）

月1回 ・誕生日リクエストメニュー

その月の誕生者がリクエストメニューを出し他の利用者はその中から好きなメニューを選びます。今年からは写真で選べるようにしました。目で見て選べるので好評です。献立名だけだと勘違いする人もいて食べる前に「これではない!」というようなことも時々あったのですが、写真にしてからはそのような事は殆どありません。

利用者からも「写真が選びやすか!」「たいぎゃ、うまかごたる」という声も聞こえてきます。



【千草寮】～地域の人達とのスポーツ大会～

千丁町社会福祉協議会主催にて、毎年行われる福祉スポーツ大会に今年も十数名が参加しました。

パンくい競技・ボーリング競技・風船割り競技・ホールインワン競技などに出場し、地域住民の方々との交流ができ、本当によかったと思います。



【入退所状況調査の分析について】

入所については6施設の平均で一番多いのが精神障害者（アルコール依存を含む）が約半数を占め、精神病院からの入所傾向がはっきりでている。次に生活障害者が多く年度別にみても増加傾向にある。ホームレスについては一旦病院に入院して施設入所となる場合が多く、今後暫くは増加傾向にあると思われる。

退所については高齢化・重度化により心配される老人施設への措置替えについて大変低く、現在の要介護者の状況からみて措置替えが進んでいないことがわかる。退所の主な理由は、精神病院入院・老人施設入所・死亡が目立って多い。在宅への流れが少ない中でも関係機関等との連携の成果と考えられるが他法・他施策また地域資源の活用等が少しずつ増えてきているように思われる。

精神障害、アルコール依存症、ホームレス、生活障害者等の入所増加が見られる中で、高齢化・重度化の傾向もあり処遇困難なケースが増えていることが伺える。

事業検討委員会

16年度は合同交歓会・ボーリング大会に加え、隔年ごとに担当する大分熊本ゲートボール交流会を熊救協の事業として植木温泉の荒木観光ホテルで実施しました

合同交歓会

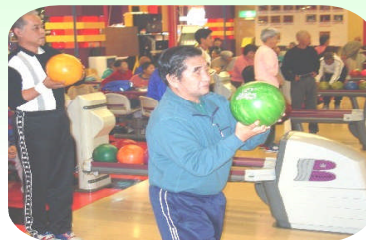
昨年度と内容は同じでしたが、グランドゴルフの審判に熊本県グランドゴルフ協会よりボランティアを派遣して頂き、職員の負担軽減・スムーズな進行と新たな交流が図られ、大会参加者も総勢300名を超える大きな大会となり、盛会の中に終了することができました。

大分・熊本スポーツ交流会

近年、グランドゴルフニーズが大変高まっていることにより今大会からグランドゴルフを追加、大会名も大分・熊本スポーツ交流会へ変更しました。今までは一部の利用者の大会となっていたが、よりたくさんの参加が可能となり、合同交歓会同様盛りあがった大会となりました。結果は、ゲートボールで菊池園A、Bチームが1位・2位を独占、熊本県チームの活躍が目立った大会でした。

ボーリング大会

昨年度は1月に計画していましたが、雪のため3月に変更となりご迷惑をおかけしました。16年度は雪の心配がいない11月に昨年と同じ熊本市のナムコワンダーシティで実施致しました。沢山の利用者が喜んでくださいました。



研修委員会

今年も早いもので、既に第3回目の職員研修会が終了しました。

今年度の第1回目の研修会には、「生活保護の動向について」林田熊救協会長から、「施設職員としての基本姿勢」（ハンドブックに基づき）土井口副会長からの講義を受けました。また、第2回目では「老人福祉施設・フォレスト熊本」と「県立こころの医療センター」の施設見学をし、サービスの在り方、倫理観など再認識する場面もありました。そして第3回目では、「危機管理マニュアルについて」熊本中央消防署から救急法について講義や実技指導の研修を受けました。グループ討議でも情報交換が活発になされました。これまでの研修会は、どれ一つ欠くことのできない基本的なものであり、さっそく業務に生かせるものではないでしょうか。

今後、更に充実した研修会とするため、気付かれましたことなどお気軽に研修委員までお知らせ下さい。新しい年も変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。

【熊救協2004,no.5】

今年は、台風・水害・地震と自然の驚異に見舞われた年でした。被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に1日も早い復興をお祈り致します。

編集：熊本県救護施設協議会
調査・研究委員会

発行：熊本県救護施設協議会

事務局：〒861-1201 熊本県菊池郡泗水町吉富今寺17-1

菊池園 Tel (0968) 38-2956

Fax (0968) 38-6017

【野坂の浦荘】～ふれあい運動会～

田浦町として、最後になるのがわかっているかのように、今にも泣き出しそうな空の元、町内の福祉団体が集って“ふれあいうんどうかい”が開催されました。

福祉の名にふさわしく、車いすを使ったりレールなど工夫を凝らした競技に、利用者の方々も十分に楽しめました。

参加者のパワーに雲も切れ、最後には明るい笑顔に太陽も照らし出されました。合併により町は大きくなりますが、今後も地域とのコミュニケーションをとり続けられたらと願っています。



【銀杏寮】～自立訓練棟～

緊急一時保護宿泊棟を13年に建て、福祉事務所と連携して短期間のホームレス等一時宿泊を受け入れています。

年間4～6名、期間は1泊から1ヶ月に及ぶ場合もあります。

また社会復帰予定者の訓練棟としても機能しています。

一昨年男性1名、そしてまもなく女性1名が調理他、単身生活の訓練をしてアパート生活に移る予定です。



「味はどうか？」

【天草園】～釣りクラブ～

天草園の地域性（自然）を生かした代表的な行事で、年6回（2回は鯛釣り、他はガラ釣り）実施。10月の鯛釣りで、利用者の方が幻の魚と言われている石鯛（約1.4kg）をゲット。

他に真鯛・カンパチ・カワハギ・ハンタ・エソ・ガラカブ・ベラ等色々な魚が釣れ、大漁でした。同時に潮干狩りも実施しており、毎回釣りと潮干狩りからセレクトでき、色々なニーズに対応できるようになっています。

普段は数名の方が堤防釣りを楽しんでいます。「船釣りは何が釣れるかわからないし沢山釣れる…」と大変、楽しみにされている行事です。



【しらがね寮】～高校生との交流～

熊本県みんなの専門高校プロジェクト推進事業の指定を受けている県立南陵高校との交流を行いました。

園芸科学科の生徒さんとは、土作りから取り組み、パンジー、サルビア等の苗を植え、きれいな花を咲かせることができ、環境工学科の生徒さんとは、間伐材を使って加工からニス塗りまでおこない、6台の長椅子を完成させることができました。食品化学科の生徒さんが作ったクッキーとマドレーヌで会食をし、生活経営科の生徒さんには食事や入浴の介護を体験してもらいました。また茶道部の生徒さんには抹茶も点ててもらい変化に富んだ交流会を行うことができ、利用者の皆さんも喜んで参加されました。2年間の指定事業も今年度で終わりますが、今後も継続して南陵高校との交流を続けていきたいと考えております。



【第29回九州地区救護施設職員研究大会】

去る7月8日～9日、熊本市のニュースカイホテルにて第29回九州地区救護施設職員研究大会が開催されました。九州各県より106名の職員と、熊本県福祉事務所より3名、次回開催県の大分県社協より1名、総勢110名の大会となりました。

今大会は「福祉サービス激動の時代、今救護施設に"真"に求められるものとは…」～生活保護制度見直しのなかで、これからの時代に応える救護施設を目指して～をテーマとして、4分科会に分かれ研究協議が行われました。第1分科会は「生活保護施設および救護施設のあり方」、第2分科会は「個別支援計画への取り組み」、第3分科会は「リスクマネジメントへの取り組み」、第4分科会は「施設におけるQOLの向上」をテーマに大変熱心に研究協議が行われ、どのテーマも今後の制度改革（三位一体改革）へ対応する中で最も重要でクリアしなければならない課題であり、最新の福祉情勢や具体的な内容を学ぶことにより、今後の方向性を見いだすことができたのではないかと思います。特別講演として竹熊先生により「いのち愛おし」という演題で講演が行われ、参加者より「命に対する考え方が変わった。大変良かった」などとても好評で今大会を更に盛り上げて頂きました。

大会を通じ、利用者サービスを行う上で最も重要な事は何かを再認識させられたのではないかと思います。

サービスを提供する職員の「心のこもった接遇」を施設職員一体となって提供することが絶対的な基本であり、そのサービスを適切に安定的に実施するためにはマニュアルやリスクマネジメント等の整備が必要であること、メンタルな部分とソフトやハード面のバランスがとれて初めて「今、救護施設に"真"に求められるもの…」が提供できると思われます。



調査研究委員会報告 【熊本県救護施設入退所状況】

施設名	13年度				14年度				15年度			
	退所者行先	人員	入所者障害状況	人員	退所者行先	人員	入所者障害状況	人員	退所者行先	人員	入所者障害状況	人員
天草園	死亡	1	生活障害	1	一般病院	1	生活障害	5	一般病院	1	生活障害（ホ）	4
	精神病院	3	精神障害	2	救護施設	1	精神障害（ア）	7	在宅	1	精神障害	1
	老人施設	1	精神障害（ア）	1	在宅	4	知的障害	1	身障施設	1	精神障害（ア）	4
					死亡	3			精神病院	1	痴呆	1
					精神病院	1			老人施設	3		
					老人施設	4						
しらがね寮	死亡	2	生活障害	1	救護施設	1	生活障害	2	死亡	3	身体障害	1
	能力開発センター	1	精神障害	1	自主退所	1	精神障害	2	身障施設	1	生活障害	2
	老人施設	1			死亡	3	知的障害	1	精神病院	2	精神障害	3
					精神病院	2			老人施設	1	知的障害	2
野坂の浦荘	一般病院	2	身体障害	1	在宅	1	生活障害	1	在宅	1	生活障害	2
	死亡	1	精神障害	1	死亡	1	精神障害	1	身障施設	1	精神障害（ア）	2
	精神病院	1	知的障害	1	精神生活訓練施設	1	精神障害（ア）	1	精神病院	1		
					精神病院	1	知的障害	1	老人施設	1		
千草寮	自主退所	1	精神障害	1	一般病院	1	生活障害（ホ）	1	一般病院	1	身体障害	1
	精神病院	1	知的障害	1	救護施設	1	精神障害（ア）	3	在宅	1	精神障害	3
					在宅	1			精神病院	3		
					死亡	1			老人施設	1		
銀杏寮					精神病院	1						
					知的障害施設	1						
	一般病院	1	身体障害	1	在宅	2	身体障害	2	一般病院	1	生活障害	3
	死亡	3	精神障害	3	死亡	1	生活障害（ホ）	2	死亡	2	精神障害	6
菊池園	身障施設	1	知的障害	1	身障施設	4	精神障害	2	精神病院	2	知的障害	1
					精神病院	1			老人施設	2		
					老人施設	1						
	グループホーム	2	身体障害	1	救護施設	1	身体障害	1	一般病院	1	生活障害	1
菊池園	在宅	1	生活障害	1	在宅	1	生活障害	1	グループホーム	2	精神障害	8
	身障施設	1	精神障害	3	老人施設	3	生活障害（ホ）	1	在宅	2	精神障害（ア）	2
	精神病院	3	精神障害（ア）	1			精神障害	3	死亡	2	知的障害	2
	老人施設	3					知的障害	1	身障施設	2		
菊池園									精神病院	3		
									知的障害施設	1		

生活障害（ホ）は ホームレス

精神障害（ア）は アルコール依存症